

「東京国際文芸フェスティバル 2016」 招へい作家

名前	プロフィール	代表作
オルハン・パムク	1952年イスタンブール生まれ。トルコ初のノーベル賞受賞者。オルハン・ケマル小説賞、国際IMPACダブリン文学賞、ノーベル文学賞を受賞。	『わたしの名は赤』『雪』『無垢の博物館』（早川書房）
ダニエル・アラロン	1977年ペルー・リマに生まれ、3歳で渡米。英語とスペイン語で執筆する。作家・編集者。PEN/USA賞を受賞。	『ロスト・シティ・レディオ』（新潮社）
スティーヴ・エリクソン	1950年ロサンゼルス生まれ。サミュエル・ゴールドウィン賞創作部門賞を受賞。	『黒い時計の旅』（白水社）、『Xのアーチ』（集英社）、『彷徨う日々』『真夜中に海がやってきた』（筑摩書房）
イーユン・リー	1972年北京生まれ。アメリカの大学に留学して以来、アメリカ在住。英語で執筆。グラント誌の「もっとも有望な若手アメリカ作家」2007選出。O・ヘンリー賞受賞。	『独りであるより優しくて』『さすらう者たち』『永遠の少年、エメラルドの少女』（河出書房新社）、『千年の祈り』（新潮社）
リュドミラ・ウリツカヤ	1943年バシコルトスタン共和国のダブレカノボ生まれ。モスクワ在住。ロシア・ブッカー賞、ロシア最優秀小説賞のほか、イタリアやドイツなどの文学賞も受賞。	『ソーネチカ』『通訳ダニエル・シュタイン』『女が嘘をつくとき』（新潮社）

※2015年8月31日現在の予定。この他にも国内外から作家を招へい予定。